

No	作品名	出展者名	作品についての説明
63	Birthday cake	川島麻由美 (神奈川県)	親しい人に赤ちゃんが産まれた事から、こんなお祝いケーキがあったら良いなと思いつき作ってみました。初心者であるのでなかなか難しいところもありましたが、編むほどに光沢が増えていくので、そこを大切に作る為、あえてシンプルなデザイン、そのままの色で作ってみました。当初別の素材を使う予定だった花も、光沢感、やわらかさも出せそうと感じ、同糸で編むことにしました。組み合わせたビーズ、リボンも優しい光沢があるものにし、シルクの上品さを演出できるように使用しました。
64	パイナップル模様 編みストール	小川静子 (埼玉県)	せつかくのシルクですから、肌に触れるような物を…と思い、首衿元に巻くストールに。このパターンはレース編みのきっかけになった大好きなパターンです。ですが、慣れているパターンではありませんが、とても苦戦いたしました。他のどんな糸よりも繊細で…その繊細さゆえにちょっとした手荒れや質の悪いかぎ針にも反応し(引っ掛かり)、完成までに少々難儀しました。ですが、無事に編み終わり、水通し、そしてスチームアイロンをかけましたら…見違えるような美しい姿に変身し、惚れ惚れしております。ツヤ感といいキラキラ光る光沢、まるで天使の羽根をまとったような軽さ！編んでいる時は大変でしたが、最後まで編んで良かったと思う一枚になりました。
65	真っ白なロマン チックモビール	和田ひろ美 (群馬県)	『繭から生まれた花』という本で見た花たちがとても綺麗で、大変感動しました。その繭から作られた富岡シルクで編んで花を作ったらどんな花になるのだろうと思いい、バラをイメージした花をまず作りました。たくさんの花を作れたのですが技量が足りず、レース編みと組み合わせて吊るすタイプのインテリアデコレーションが完成しました。なるべく富岡シルク以外の素材を使わず(ビーズや装飾)、真っ白のシルクの美しさが伝われば良いなと思っています。
66	春を待つ	渡邊幸子 (大阪府)	美しい糸を美しく仕上げたい一心で編み進めました。ヨーク部は1本どりのかぎ針編み、身頃と袖は2本どりで棒針編みで仕上げました。レース編みのヨークが生きるように身頃はシンプルな編み地として、袖口・裾口はのびない様に細編にしたのは良かったと思っています。絹糸の美しさ優しさを生かしたこのセーターは、春に催される“詩吟の会”で、丸帯をリメイクしたロングスカートにあわせてステージに立つ予定です。
67	春待ちショール	鈴木直美 (千葉県)	生糸の魅力を引き出せるような模様を作成し、棒針でレースショールを編みました。雪の中で春を待ち侘びる小花をイメージしました。シルクの艶と馴染むようにワンポイントでスワロフスキーを配置しました。
68	冬コートの 替え袖口	天木雅美 (東京都)	冬のコートを着るとマフラーで印象を変化させることができます。これをはめると手元がおしゃれになります。ユニクロのライトダウンの手首にはめるだけで、足元にパンプスを履きたくなります。今回は白で、自分でモチーフを考え作りました。次は染色して編んで、セーターの袖にもつけてみたいと思います。
69	絹蝶ショール	ちゃちゃ丸 (群馬県)	富岡シルク糸を生み出してすぐ、その一生を終えてしまう蚕の成虫が、美しい白蝶となり、元気いっぱい桑畑を羽ばたく姿を想像して編みました。陽の光に透かすと、空を無数の蝶が羽ばたいているように見え、肩に羽織ると、肩に無数の蝶が止まっているように見えるショールです。またショールの縁には、桑の花びらをイメージしたものを一つ一つ編みつけました。真っ白で艶のある美しい富岡シルク糸が、蝶のイメージにピッタリかと思えます。
70	Sekka(雪花)	瀧優香 (三重県)	雪の中に咲く美しい花。絹糸のキラキラ輝く美しい光沢は、雪に反射する光。たくさんの日の光を浴びて美しく咲く花。極細のモヘアの糸と絹糸を引きそろえて、やわらかく優しく美しく咲く姿を作品にしました。(バラの花は岡本啓子先生の作品を使用しています。) 絹糸が思ったより細くしなやかで、ためし編みではイメージどおりできなかったもので、極細のモヘア糸を引きそろえてみました。裏側は雪が降り積もる大地をイメージしています。モヘア糸と絹糸の引きそろえはしっかりと踏み固まった雪の大地の様。その上に極細のモヘアのふわふわした綿雪。ふりそそぐ絹糸の日の光の層。壮大な雪原の中に咲く、一輪の雪花のイメージが感じていただけますように…
71	しらゆりの コサージュ	塚田由加理 (群馬県)	MISIAさんの『逢いたくていま』のPVに登場するゆりの花をモチーフに、百合さんという名の友人もおりますので題材にしてみました。工夫したところは花びらの繊維質な感じを出すのにメリヤス編みにしてみました。高低差をつけて立体的なものにして、シルクの艶を生かしたかったです。
73	新雪のショート スヌード	ケロ蔵 (東京都)	白く、キラキラしっとり、キュッと鳴る糸から想像されるものは「新雪」。雪をモチーフにしたショートスヌードを作りました。2目ゴム編みを下地とし、外側を雪のモチーフを繋いでいます。モチーフはシルクの光沢が際立つように、リングと雪輪、雪玉をイメージしたボール、タティングで作った雪の結晶を組み合わせました。ボールが下地に止め付けられている方を上に、ボールが揺れている方を下にすることで雪が降る様子を表しています。棒針編みとモチーフ編みを重ねることで立体感も表現できたと思います。